専門教育科目 講義科目

授業科目名	福祉住環境の考え方と実践	科目コード	配当年次	単位
担当教員	竺原　誠司	HJ13	1	2

科目の概要

少子化と相まって世界でも例を見ない高齢者の多い国へと変化を遂げているわが国において、安全・安心・快適な住まいや安心して暮らせるまちづくりといった社会環境を整備することは、極めて重要な課題である。
本科目では、福祉と住環境に関する基礎的な知識について理解を深め、高齢者や障害者が、より安全・安心・快適で自立した生活をおくれるようにするためにはどうあるべきかを学習する。

科目の到達目標

①福祉住環境コーディネーターの立場と役割、その仕事に必要な福祉住環境の専門用語を説明できる。
②高齢者や障害者が安全・安心・快適で自立した生活をおくれるような福祉住環境の考え方と実践方法を提案できる。

テキスト	『福祉住環境コーディネーター検定試験３級公式テキスト』東京商工会議所(編),東京商工会議所,2022年

テキストの読み方

①自分や家族が体験した住環境の問題点や、高齢者・障害者が日常生活で感じている不便さを想像しながら読み進めてほしい。
②「安全・安心・快適な住まい」はテキストの核となる章である。掲載図を参考に実際の場面をイメージしつつ、どのような配慮が必要かを細部まで読みこなしておくことが肝要である。

単位修得の方法

リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、２単位を修得できる。